

様式第 3 の 6

水銀排出施設設置~~（使用、変更）~~届出書

不要な箇所は二重線で消す

年 月 日

尼崎市長 殿

届出者 住所（法人にあつては主たる事業所の所在地）

工場長等が届出者となる場合は
委任状を添付

氏名（法人にあつては名称及び代表者の氏名）

28 第 1 項：設置
29 第 1 項：使用
30 第 1 項：変更

担当者氏名：

電話番号：

大気汚染防止法第 18 条の 28 第 1 項~~（第 18 条の 29 第 1 項、第 18 条の 30 第 1 項）~~の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	施設が設置等される事業所の名称	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	施設が設置等される事業所の住所	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種類	施設の種類及び数 例：廃棄物焼却炉 1 基	※施設番号	
水銀排出施設の構造	別紙 1 のとおり。	※審査結果	
水銀排出施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。	※備考	
水銀等の処理の方法	別紙 3 のとおり。		
参考事項			

- 備考 1 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第 3 の 3 に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。
- 5 参考事項の欄に、施行規則様式第 1 による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大汚防法施行令第 13 条に規定する市の長が別紙 1 ～ 3 の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙 1 ～ 3 の全部又は一部を省略することができる。

別紙 1

変更届の場合、左列に変更前の数値等を、
右列に変更後の数値等を記載すること

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		事業所で管理している 施設ごとの番号	
名称及び型式		一般的な施設名称、 メーカー名及び型式	
設置年月日		年 月 日 設置届の場合：記載不要 使用・変更届の場合：施設が設置された日	
着手予定年月日		年 月 日 届出日より 60 日以上後になっていること	
使用開始予定年月日		年 月 日 年 月 日	
規模	燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)	重油換算した値	
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)	設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること	
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	焼却能力 (kg/h)		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第 3 の 3 の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、参考事項の欄に、施行規則様式第 1 による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

変更届の場合、左列に変更前の数値等を、右列に変更後の数値等を記載

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		別紙 1 と同じ施設番号			
使用状況	1 日の使用時間及び月使用日数等	年間の稼働時間が算出できる情報を記載		時～時	時間/回 回/日 日/月
	季節変動				
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類				
	使用割合				
	原材料中の水銀等含有割合	基本的に測定値を記載			
	1 日の使用量				
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	重油、都市ガス、電力等具体的に記載			
	燃料中の水銀等含有割合	重量比%か容量比%かを明らかにし、メーカー保証の最大値を記載			
	通常の使用量	液体燃料の場合はℓ/h、気体燃料の場合は Nm ³ /h			
	混焼割合	専燃の場合は○○専燃と記載し、混燃の場合は通常操作時の燃料使用量の熱量比割合で記載			
排出ガス量 (m ³ /h)	湿り	最大	通常	最大	通常
	乾き	最大	通常	最大	通常
標準状態 (温度が零度、圧力が 1 気圧) の値を記載					
排出ガス中の酸素濃度 (%)					
水銀濃度 (μg/m ³) 有効数字 2 ケタとして 3 ケタ目以降を切り捨て	全水銀	上欄の酸素濃度での値を記載			
	ガス状水銀				
	粒子状水銀				
参考事項					

- 備考 1 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が 1 気圧の状態 (この項において「標準状態」という。) における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス 1 立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 2 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
- 3 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 4 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

別紙 事業所で管理している処理施設ごとの番号
(処理施設がない場合は記載不要)
(煙突は処理施設ではない)

変更届の場合、左列に変更前の数値等を、
右列に変更後の数値等を記載すること

理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号						
一般的な処理施設名称、メーカー名及び型式 (処理施設がない場合は記載不要)		別紙 1 と同じ施設番号				
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式						
設 置 年 月 日		年 月 日		年 月 日		
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日		年 月 日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日		年 月 日		
処	排出ガス量 (m ³ /h)	湿り	最大	通常	最大	通常
		乾き	最大	通常	最大	通常
理	排出ガス温度 (°C)	処理前				
		処理後				
能	排出ガス中の酸素濃度 (%)					
力	水銀濃度 (µg/m ³) 有効数字 2 ケタとして 3 ケタ目以降を切り捨て	処理前				
		処理後				
力	捕集効率 (%)	全水銀				
		ガス状水銀				
		粒子状水銀				
使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月		時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月		
	季 節 変 動					

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が 1 気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス 1 立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 4 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 5 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、参考事項の欄に、施行規則様式第 1 による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。